



Plusidea ベーシックメニュー

外壁下地補修工事

Q

どうして、
外壁下地補修が必要なの？



A

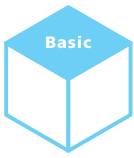
劣化してしまった部分をしっかりと直すのはもちろん、きれいな仕上げにするには、下地をきちんと整える必要があります。

コンクリートは経年劣化等により、ひび割れが発生します。これを放置するときれいに仕上げることはできませんし、雨水の浸入により、さらに劣化が進んでしまいます。



こんなに良くなります！





外壁下地補修工事

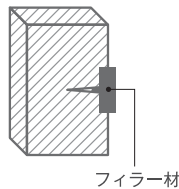
外壁面に発生している故障箇所を補修し、
コンクリートの中酸化・内部鉄筋の腐食を防ぎ、
さらに雨水の浸入や剥離事故を防止します。

塗装面の 補修工事



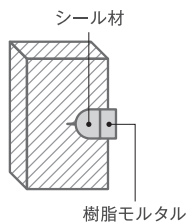
小さなひび割れ

フィラー材(充てん材)をひび割れに沿って擦り込みます。



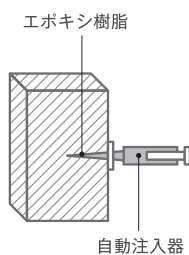
大きなひび割れ

ダイヤモンドカッターで、ひび割れに沿ってU字にカットし、シール材(防水用充てん材)を充てんして硬化後、樹脂モルタルで成形します。



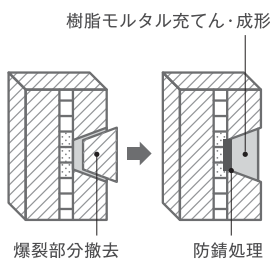
深いひび割れ (構造・貫通ひび割れ)

ひび割れに沿ってエポキシ樹脂を、自動注入器を使って低速・低圧で注入。奥まで確実に補修します。



鉄筋爆裂補修

爆裂とは鉄筋がサビで膨張し、コンクリートを圧迫して表面が崩れてしまった状態のこと。爆裂部を除去し、錆止めをした後、樹脂モルタルで成形します。

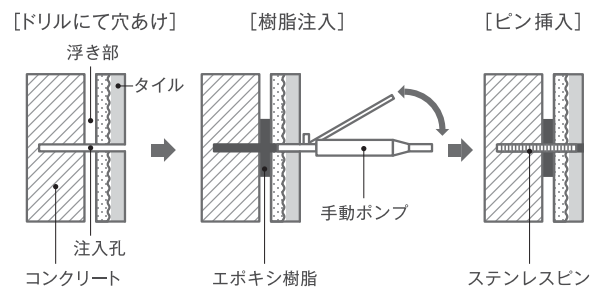


タイル面の 補修工事



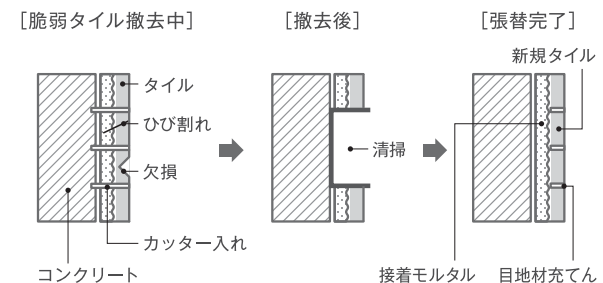
タイルの浮き補修

ステンレスのピンと接着剤を挿入してコンクリートとタイルを一体化させます。



タイル張り替え

ひび割れや欠損しているタイルを撤去し、新規にタイルを張り、目地埋めします。



※本資料は、大京グループの修繕工事の一般事例の概略を掲載しています。※掲載の写真は参考事例です。実際とは異なる場合があります。
※各工事の作業内容、手順は、建物の状況、お見積り、ご契約、お打ち合わせ等により異なります。※詳細につきましては別途お問い合わせください。